

品 目	工 具	工 具 番 号	No
不、J-モニタモニターで補修や修理の出UCC 。の許多補修の補修器具	ーターモニターモニター	31083KAV030	1

9 卷末資料

9-1	新設特殊工具	9-2
[1]	ボディ	9-2
9-2	点検整備方式	9-3
■	点検整備項目	9-3
■	定期交換部品項目	9-7
9-3	サービスデータ	9-8

[1] ボディ

No	工具番号	工 具 名 称	用 途
1	24082KA020	セレクトモニターカートリッジ	ECU出力信号や制御データをモニターし、不具合系統の診断を行う。

8-0..... 具工新特選選 1-0
 8-0..... トモホ (1)

 8-0..... 矢式新選針点 5-0
 8-0..... 目取新選針点 ■
 7-0..... 目取品新選針点 ■

 8-0..... 矢式新選針点 5-0



- ・日常点検項目の判定基準は自動車使用者に周知徹底を図る。
- ・「●」印は法定項目、「○」はメーカー指定項目を示す。
- ・「◇」印はシビアコンディション時（メーカー指定）、「◆」は距離項目（法定）の点検時期を示す。

■ 点検整備項目

点検整備項目			点検整備時期			判定基準	備考							
点検箇所	点検項目	日常点検	自家用乗用車等											
			6 か 月 毎	1 年 毎	2 年 毎									
か じ 取 り 装 置	ハンドル	操作具合			●									
	ギヤ・ボックス	取付けの緩み		◇	◆									
		油もれ												
	ロッド及びアーム類	緩み、がた及び損傷			◆									
		ボール・ジョイントのダスト・ブーツの亀裂及び損傷		◇	●									
	かじ取り車輪	ホイール・アライメント			◆	トーイン	0±3mm							
						キャンバー 左右差 45'以内	フロント	トラック、パネルバン	0°±45'					
							バン、ディアス	0°±45'						
								ワゴン	0°30'±45'					
							リヤ	トラック、パネルバン	0°35'±45'					
						バン、ディアス		0°15'±45'						
	ワゴン	-0°5'±45'												
	ナックル (センターアーム)	連結部のガタ												
パワー・ステアリング装置	取付けの緩み			◆										
制 動 装 置	ブレーキ・ペダル	遊び及び踏み込んだときのペダルブラケットのナットとの距離	●	●	●	・遊び 1～3mm ・踏力約294N {30kgf} で踏込時ペダルブラケットのナットとの距離 50mm以上								
		ブレーキのきき具合	●	●	●	<table><tr><td></td><td>制動力</td></tr><tr><td>後輪和</td><td>軸重の 10%以上</td></tr><tr><td>各輪左右差</td><td>軸重の 8%以下</td></tr><tr><td>総和</td><td>検査時車両重量の50%以上</td></tr></table> (注) 前軸の全ての車輪がロックし、計測困難な場合は、その状態で総和に対し適合するとみなす。		制動力	後輪和	軸重の 10%以上	各輪左右差	軸重の 8%以下	総和	検査時車両重量の50%以上
		制動力												
	後輪和	軸重の 10%以上												
	各輪左右差	軸重の 8%以下												
	総和	検査時車両重量の50%以上												
	駐車ブレーキ・レバー	引きしろ、踏みしろ	●	●	●	操作力	196N {20kgf}							
						引きしろ	7～9ノッチ							
						全ストローク	17ノッチ							
		ブレーキのきき具合		●	●	操作力	400N {40kgf} 以下							
ロッド及びケーブル類	緩み、がた及び損傷			◆										
ホース及びパイプ	漏れ、損傷及び取付状態	◇	●	●										

点検整備方式

S-9

点検整備項目			点検整備時期				判定基準	備考															
点検箇所	点検項目	日常点検	自家用乗用車等																				
			6 か 月 毎	1 年 毎	2 年 毎																		
制 動 装 置	リザーバー・タンク	液量	●				● 液面レベル MAXラインとMINラインの間にあること																
	マスター・シリンダー、ホイール・シリンダー及びディスク・キャリパー	液漏れ			●	●																	
		機能、摩耗及び損傷				●																	
	ブレーキ・ドラム及びブレーキ・シュー	ドラムとライニングのすき間			◆	◆		● 自動調整式のため点検不要															
		シューの摺動部分及びライニングの摩耗		◇	◆	◆	標準厚さ 4.5mm 使用限度 1.7mm																
		ドラムの摩耗及び損傷			◇	●	標準径 200mm 使用限度 202mm																
	ブレーキ・ディスク及びパッド	ディスクとパッドとのすき間			◆	◆		● 自動調整式のため点検不要															
		パッドの摩耗		◇	◆	◆	標準厚さ 9mm 使用限度 2.0mm																
		ディスクの摩耗及び損傷			◇	●	標準厚さ 18mm 使用限度 16mm																
	走 行 装 置	ホイール	タイヤの空気圧 単位Kpa [kgf/cm ²] 定積載 () 内は 2名+100kg以下の時	●				<table><tr><th>タイヤの仕様</th><th>前輪</th><th>後輪</th></tr><tr><td>145R12-6PR LT</td><td>240[2.4] (200[2.0])</td><td>300[3.0] (220[2.2])</td></tr><tr><td>145R12-6PR LT 注)</td><td>240[2.4] (220[2.2])</td><td>260[2.6] (220[2.2])</td></tr><tr><td>155/80R12 77S</td><td>220[2.2] (200[2.0])</td><td>220[2.2] (220[2.2])</td></tr><tr><td>165/70R13 79S</td><td>200[2.0]</td><td>220[2.2]</td></tr></table>	タイヤの仕様	前輪	後輪	145R12-6PR LT	240[2.4] (200[2.0])	300[3.0] (220[2.2])	145R12-6PR LT 注)	240[2.4] (220[2.2])	260[2.6] (220[2.2])	155/80R12 77S	220[2.2] (200[2.0])	220[2.2] (220[2.2])	165/70R13 79S	200[2.0]	220[2.2]
タイヤの仕様		前輪	後輪																				
145R12-6PR LT		240[2.4] (200[2.0])	300[3.0] (220[2.2])																				
145R12-6PR LT 注)		240[2.4] (220[2.2])	260[2.6] (220[2.2])																				
155/80R12 77S		220[2.2] (200[2.0])	220[2.2] (220[2.2])																				
165/70R13 79S		200[2.0]	220[2.2]																				
		タイヤの亀裂及び損傷	●																				
		タイヤの溝の深さ及び異常な摩耗	●		●	●	● 残溝 1.6mmまで																
	ホイール・ナット及びホイール・ボルトの緩み			◆	◆	● ホイール・ナットの締付けトルク 8.0～10.0kg・m																	
	フロント・ホイール・ベアリングのがた				◆	● アクスル中心部における軸方向の遊び 0～0.05mm																	
	リヤ・ホイール・ベアリングのがた				◆	● アクスル中心部における軸方向の遊び 0～0.3mm																	
緩衝装置	取付部及び連結部	緩み、がた及び損傷			◇	●																	
	ショック・アブソーバ	油漏れ及び損傷				●																	
動力伝達装置	クラッチ	ペダルの遊び及び切れたときのペダルブラケットのナットとの距離			●	●	● 遊び 5～15mm ● 切れたときのペダルブラケットのナットとの距離30mm以上	● AT車は点検不要															
	トランスミッション及びトランスファー	油漏れ及び油量			●	●	● レベルゲージのF～L間にあること																

点検整備方式

点検整備項目			点検整備時期				判定基準	備考
点検箇所	点検項目	日常点検	自家用乗用車等					
			6か月毎	1年毎	2年毎			
動力伝達装置	プロペラシャフト及びドライブ・シャフト	連結部の緩み		◆	◆			
		自在継手部のダスト・ブーツの亀裂及び損傷		◇	●			
	デファレンシャル	油漏れ及び油量				◆	フィラプラグ穴下面より0～5mm間にあること ・4WD車のフロントのみリヤは点検不要	
電気装置	点火装置	点火プラグの状態			●	●		・白金プラグは点検不要
		点火時期			●	●	BTDC 10°/750rpm	・点検調整時はテストモードコネクターを接続すること。
	バッテリー	液量	●				・液面レベル UPPER LEVEL～LOWER LEVEL間にあること	
		ターミナル部の接続状態			●	●		
	電気配線	接続部の緩み及び損傷				●		
原動機	本体	かかり具合及び異音	●					
		低速及び加速の状態	●				アイドリング回転数 750rpm	・P又はNレンジ
		排気の状態			●	●		
		エア・クリーナー・エレメントの状態		◇	◆	◆		
	潤滑装置	油漏れ			●	●		
		油量	●				・レベルゲージの○～○間にあること	
	燃料装置	燃料漏れ			◇	●		
		リンク機構の状態				●		
		スロットル・バルブ及びチョーク・バルブの状態				●		・スロットル・バルブの状態
	冷却装置	水量	●				・リザーバ・タンクFULL～LOW間又はF～L間にあること	
	水漏れ			●	●			
ばい煙・悪臭のあるガス・有害なガス等の発散防止装置	ブローバイ・ガス還元装置	メーターリング・バルブの状態				●		
		配管の損傷				●		
	燃料蒸発ガス排出抑止装置	配管等の損傷				●		
		チャコール・キャニスターの詰まり及び損傷				●		
		チェックバルブの機能				●		
	一酸化炭素等発散防止装置	触媒反応方式等排出ガス減少装置の取付けの緩み及び損傷				●		
		配管の損傷及び取付状態				●		
熱害防止装置	遮熱板の取付けの緩み及び損傷				●			

点検整備方式

点検整備項目		点検整備時期				点検整備基準				備考	
		日常点検	自家用乗用車等			判定基準				目録対照点	補綴対照点
点検箇所	点検項目		6か月毎	1年毎	2年毎	S	I	常	常		
灯火装置及び方向指示器	作用	●				●	●			点検	点検
窓ふき器、洗浄液噴射装置	作用	●				●	●			点検	点検
エグゾースト・パイプ及びマフラー	取付けの緩み及び損傷			●	●						
	マフラーの機能				●	●	●				
車枠及び車体	緩み及び損傷			●	●	●	●				
	スライド式ドアの開閉			○	○						
運行において異状が認められた箇所	当該箇所の異状がないことを確認	●									
電気装置	充電発電機			○	○	●	●				
原動機	本体	弁すき間								4万km毎の点検	
	スーパーチャージャーベルトの緩み及び損傷			○	○						
	スーパーチャージャー油量の点検				○	●	●				
	過給装置	過給圧制御装置の機能			○						

定期交換部品項目	交換時期		備 考
	年 毎 交 換 単 位 : 年	走 行 キ ロ 毎 交 換 : 千 km	
	自家用乗用車等	自家用乗用車等	
ブレーキ液	2		
ホイール・シリンダーのゴム部品	2		
ブレーキ・ホース	4		
トランスミッション・オイル		40	
デファレンシャル・オイル		40	
点火プラグ		100 20	白金プラグ 白金プラグ以外
エア・クリーナー・エレメント		40 「20」	
タイミング・ベルト		100	
エンジン・オイル・フィルター		10 「5」	
エンジン・オイル	0.5 「0.25」	10 「5」	
燃料フィルター		60	
冷却水	2	40	

2. 「」印はシビアコンディション時での交換時期を示す。

2. 「 」印はシビアコンディション時での交換時期を示す。

9-7

エ ン ジ ン			スパークプラグ ギャップ mm		NA・SC(赤帽車を除く)		0.7～0.8							
			イグニッション コイル		赤帽車		0.8～1.0							
					1次コイル		計測不可							
エンジン区分			NA		EN07V		2次コイル		24kΩ±15%					
			SC		EN07Y		出力 V-A		12-55					
排気量 cm³					658		調整電圧 V		14.2～14.8					
内径×行程 mm					56.0×66.8		2WD MT		0.65					
最高出力 kW{PS}/rpm			NA		35 {48} /6400		4WD MT		0.75					
			SC		43 {58} /6000		AT		0.8					
最大トルク N·m/rpm			NA		58/3200		ALT		点検時 (継続品)		10.5～13.5			
			SC		74/4000				交換時 (新品)		7.5～10.5			
圧縮比			NA		10.2		ALT +A/C		点検時 (継続品)		6～7			
			SC		8.9				交換時 (新品)		5～6			
圧縮圧力 kPa {kgf/cm²} -rpm			NA		1140 {11.6} -300		ALT		点検時 (継続品)		10.5～13.5			
			SC		1020 {10.1} -300				交換時 (新品)		7.5～10.5			
アイドリング回転数 rpm					750		SC		点検時 (継続品)		4～6			
点火時期 BTDC°/rpm					10/750				交換時 (新品)		4～5			
バルブクリアランス mm			IN側		0.15±0.02		ALT		点検時 (継続品)		10.5～13.5			
			EX側		0.20±0.02				交換時 (新品)		7.5～10.5			
エンジンオイル量 ℓ (AT車は+0.1ℓ)			オイル交換時 (フィルター交換時+0.2ℓ)		2.4		SC		点検時 (継続品)		4～6			
			オーバーホール時		3.0				交換時 (新品)		6.5～7.5			
シリンダーヘッド歪み限度 mm					0.05		ALT +A/C		点検時 (継続品)		4～6			
シリンダーヘッド研磨限度 mm					0.15				交換時 (新品)		4～5			
マニホールド締付けトルク N·m {kgf·m} (冷間)			吸 気		19±2 {1.9±0.2}		SC		点検時 (継続品)		6.5～7.5			
			排 気		30±5 {3±0.5}				交換時 (新品)		5.5～6.5			
ヘッドボルト 締付けトルク (冷間)			①ワッシャーおよびヘッドボルトネ ジ部にエンジンオイルを塗布する。 ②順に各ボルトを29N·m {3.0kgf·m} のトルクで締付ける。 ③全数締付後、全数のボルトを一旦 完全に緩める。 ④順に中心のボルト6本を25±0.5N·m {2.6±0.05kgf·m}、外側の4本を 20±0.5N·m {2.0±0.05kgf·m} の トルクで締付ける。 ⑤最後に、全ボルトを順に90°増し締 めする。				サーモスタット		開弁温度 ℃		78			
									全開温度 ℃		91			
							ラジエータキャップ 開弁圧 kPa {kgf/cm²}		正圧側		88.2±14.7 {0.9±0.15}			
									負圧側		-4.9 {-0.05} 以下			
							冷却水全容量 ℓ		MT		リヤヒーター 無 し		5.1	
											リヤヒーター 有 り		5.4	
スパークプラグ			NA(赤帽車を除く)		BKR5E		NA		AT		リヤヒーター 無 し		6.0	
											SC(赤帽車を除く) <td colspan="2">BKR6E</td> <td colspan="2">リヤヒーター 有 り</td> <td colspan="2">6.3</td>		BKR6E	
			赤帽車		BKR6EKPA									

サービスデータ

冷却水全容量 ℓ	SC	MT	リヤヒーター 無 し	6.0	フ ア ラ イ メ ン ト ホ イ ー ル ト	トーイン mm		0±3		
			リヤヒーター 有 り	6.3		キャンバー (参考値) 左右差 45'以内	トラック, パネルバン	0°±45'		
		バン, ディアス				0°±45'				
		ワゴン	-0°30'±45'							
リザーブタンクのFull レベルまで	AT	リヤヒーター 無 し	6.1	6.4	リ ア ラ イ メ ン ト ホ イ ー ル ト	サイドスリップ mm/m		0±4		
						リヤヒーター 有 り	6.4	キャンスター (参考値)	トラック, パネルバン	5°5'
		バン, ディアス	5°30'							
		ワゴン	5°50'							
アイドルCO濃度 %					0.5以下	キングピン 傾斜角 (参考値)	トラック, パネルバン	14°55'		
アイドルHC濃度 ppm					450以下		バン, ディアス	14°55'		
							ワゴン	15°50'		
トランスミッション										
ギヤオイル 油量 (ℓ)	2WD			2.0	リ ア ラ イ メ ン ト ホ イ ー ル ト	トーイン mm		0±3		
	4WD	セレクトイブ	5MT	2.1		キャンバー (参考値) 左右差 45'以内	トラック, パネルバン	0°35'±45'		
			EL+5MT	2.3			バン, ディアス	0°15'±45'		
			EL+5MT デフロック 付き	2.4			ワゴン	-0°05'±45'		
			フルタイム	5MT			2.2	サイドスリップmm/m (参考値)		0±5
	フロントデフ			0.8		地上高 mm 公差 ⁺¹² ₋₂₄ 左右差 10mm以内	フ ロ ン ト	トラック	145R12	316
	ATF油量 (ℓ) オイルクーラー 分を含む	2WD (赤帽を除く)		3.8				パネルバン	145R12	315
		2WD (赤帽)		4.1				バン	145R12	315
4WD		4.2	ディアス	145R12	314					
			155/80R12	319						
				ワゴン	165/70R13 79S		307			
				リ ヤ	トラック		145R12	284		
					パネルバン		145R12	282		
					バン	145R12	277			
					ディアス	145R12	276			
				155/80R12	281					
				ワゴン	165/70R13 79S	269				
注) 実車でドレンプラグから抜いた時, 約1.5ℓだけ抜ける (ATF)										
ボ デ ィ										
フューエルタンク容量 ℓ				40	アクスルナット 締付けトルク N・m{kgf・m}	フロント		177±20 {18±2}		
フューエルポンプ吐出量 L/H				80以上		リヤ		186±20 {19±2}		
ブレーキペダル	遊び mm			1~3	ハブボールベア リングのがた mm	フロント		0.05以下		
	踏込時ペダルブラ ケットのナットと の距離 mm			140以上 踏力 約294N {30kgf}		リヤ		0.3以下		
クラッチペダル	遊び mm			5~15	ホイールサイズ (標準装着)	ワゴンを除く		12×4.00B		
	切れたときのペダル ブラケットのナット との距離 mm			30以上		ワゴン		13×4.50B		
					ホイールナット締付けトルク N・m{kgf・m}				88±10 {9±1}	

サービスデータ

タイヤ空気圧 kPa{kgf/cm ² }				ライニング厚さ mm	標 準	4.5	
145R12-6PR LT トラック, バン, パネルバン	定積載	前輪	240 {2.4}	ドラム内径 mm	限 度	1.7	
		後輪	300 {3.0}		標 準	200	
	2名+ 100kg以下	前輪	200 {2.0}	限 度	202		
		後輪	220 {2.2}	標 準	9.0		
145R12-6PR LT ディアス	定積載	前輪	240 {2.4}	パッドの厚さ mm	限 度	2.0	
		後輪	260 {2.6}		標 準	18.0	
	2名+ 100kg以下	前輪	220 {2.2}	ディスクの厚さ mm	限 度	16.0	
		後輪	220 {2.2}				
155/80R12 77S	定積載	前輪	220 {2.2}	ブレーキのきき具合	制動力		
		後輪	220 {2.2}		後輪和	軸重の10%以上	
	2名+ 100kg以下	前輪	200 {2.0}		各輪左右差	軸重の8%以下	
		後輪	220 {2.2}		総和	検査時車重の50%以上	
165/70R13 79S	前輪	200 {2.0}	注) 前軸の全ての車輪がロックし、計測困難な場合は、その状態で総和に対し適合とみなす。				
	後輪	220 {2.2}					
ステアリングホイールの遊び mm			0~25		バッテリー型式	2WD標準	26B17L (12V-21AH)
舵角 公差 ^{+1°30'} _{-2°30'}	内側		37°10'				
	外側		31°36'	エアコン	冷媒量 g	400±50	
ブレーキレバー	引きしろ ノッチ 操作力 196N {20kgf}		7~9				
	全ストローク ノッチ		17				

<関連資料>

SAMBAR 新型車解説書・整備解説書	'02.2	U7381A
SAMBAR 新 型 車 解 説 書	'01.8	U7371A
SAMBAR 整 備 解 説 書	'01.8	G7371A
SAMBAR 電 気 配 線 図 集	'01.8	X7371A
SAMBAR 故 障 診 断 書	'01.8	P7371A
SAMBAR 新型車解説書・整備解説書	'00.11	U7361A
SAMBAR 新型車解説書・整備解説書	'00.4	U7351A
SAMBAR 新型車解説書・整備解説書	'99.10	U7344A
SAMBAR 新 型 車 解 説 書	'99.2	U7341A
SAMBAR 整備解説書（上巻）	'99.2	G7341A
SAMBAR 整備解説書（下巻）	'99.2	G7342A
SAMBAR 電 気 配 線 図 集	'99.2	X7341A
SAMBAR 故 障 診 断 書	'99.2	P7341A

㊦ 1,850 - 96

2002 年 9 月 発行 1版

禁複製・転載

——実費1,000円——

(消費税は含まれておりません)

編 集・発 行

富士重工業株式会社

東京都新宿区西新宿一丁目7番2号

問い合わせ先：スバル営業本部スバルカスタマーセンター
サービス第一部 国内サービス教育課



SUBARU

富士重工業株式会社

G7391A